

第12回中部地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員会 議事概要

1. 日時及び場所

(1)日時 令和4年3月2日(水)10:00~12:00

(2)場所 中部地方整備局(名古屋合同庁舎第2号館)会議室

2. 中部地方整備局コンプライアンス・アドバイザー委員

委員長 熊田 均 弁護士

委員 上田 圭祐 公認会計士(WEB 参加)

委員 柴田 義朗 弁護士(WEB 参加)

委員 豊田 雄二郎 中日新聞論説委員(WEB 参加)

委員 横溝 大 名古屋大学大学院教授(WEB 参加)

3. 議題

(1)令和3年度 中部地方整備局コンプライアンス報告書(案)

(2)令和4年度 中部地方整備局コンプライアンス推進計画(案)

(3)発注者綱紀保持マニュアル改訂(案)

4. 議事概要

- ・非常に充実したコンプライアンスの取り組みを行っていると思われた。
- ・取組事項は、非常に多岐にわたって盛りだくさんだが、メリハリを付けるなどもう少し減らして行くことも考えたかどうか。
- ・研修・講習など色々な取組を行っているが、マンネリ化を防ぐことが大切。いかにマンネリ化を防ぐかを検討しながら進めていただくと良い。
- ・マンネリ化についてはいつも言われることだが、同じことを継続して地道にやることの意義はあるのではないか。自分のベクトルを確認する意味でそれなりに効果はあると思うが、一方で、取組の工夫やアップデートを行うことも必要。
- ・小さな芽を摘むことは大事なことなので、相談窓口の強化はいいこと。また、あまり疑心暗鬼になってはいけないが、内部通報についてもう少し考えてもいいのではないかと。
- ・職員アンケートで、内部通報をしないと答えた人がいるが、ルールを守ることは、自らを守るという意識を持つことが大切。それに留意して研修・講習を行ってほしい。
- ・社会的責任の大きさや不祥事を起こすと社会的制裁を受けることを自覚することも大切。